

- 問1 東南アジア諸国連合（ASEAN）の加盟国であり、赤道付近に位置する島々からなるインドネシアの地理的・社会的特徴として正しいものはどれですか。（2022年 熊本県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------------------------------------|---|---|---|
| 1. 東南アジアの中で最も人口が多く、世界最大のイスラム教徒人口を抱える。 | 2. 東南アジア大陸部に位置し、メコン川下流域の肥沃な平野で稲作が盛んに行われている。 | 3. 西アジアのサウジアラビアと並び、乾燥した砂漠気候が広がるイスラム教国である。 | 4. 南アジアに位置する島国で、近年は衣類などの繊維工業が急速に発展している。 |
|---------------------------------------|---|---|---|
- 問2 南アジアに位置するインドのガンジス川流域では、自然環境に合わせた農業が行われています。この地域における降水量と栽培作物の関係について説明した文として、最も適切なものを次の中から選びなさい。（2021年 福島県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 季節風の影響を受けず降水量が一定であるため、地域による作物の違いはほとんど見られない。 | 2. 年間降水量が豊富なガンジス川下流域では、多くの水を必要とする稲の栽培が盛んである。 | 3. 標高が高く冷涼な気候であるため、主食となる作物の代わりに茶の栽培が最も盛んである。 | 4. 年間降水量が少なく乾燥しているため、水の使用を抑えられる小麦の栽培が全域で行われている。 |
|--|--|--|---|
- 問3 世界の米の生産状況について、生産地域が中国、日本、東南アジア、インドなどの沿岸部や島嶼部に圧倒的に集中している州はどこですか。（2019年 奈良県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------|-----------|-----------|---------|
| 1. アフリカ州 | 2. ヨーロッパ州 | 3. 北アメリカ州 | 4. アジア州 |
|----------|-----------|-----------|---------|
- 問4 東アジアに位置する国であるモンゴルの地理的な特徴について述べた文として、最も適切なものを次の中から選びなさい。（2016年 愛媛県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 多くの島々からなる東南アジアの島国であり、環太平洋造山帯に属している。 | 2. 東南アジアの半島部に位置し、低地では熱帯の気候を利用した稲作が盛んに行われている。 | 3. スカンジナビア半島に位置する北ヨーロッパの国であり、複雑な海岸線のフィヨルドが見られる。 | 4. 国土のすべてが陸地に囲まれた内陸国であり、北はロシア、南は中国と国境を接している。 |
|--|--|---|--|
- 問5 年平均気温が約26℃と年中高温で特に夏の降水量が多く、平均標高が約85mと国土に平地が多い特徴をもつアジアの国において、盛んに行われている農業の説明として最も適切なものはどれですか。（2023年 宮崎県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------------------------------------|---|--|--|
| 1. 平地が多く高温多雨な気候環境を生かして、米が盛んに生産されている。 | 2. 標高が高い山岳地帯の冷涼な気候を生かして、じゃがいもが盛んに栽培されている。 | 3. 年間を通して降水量が少ない乾燥した気候を生かして、なつめやしの栽培が行われている。 | 4. 乾燥した広大なステップ気候を生かして、小麦の栽培と羊の放牧が行われている。 |
|--------------------------------------|---|--|--|
- 問6 西アジアなどの資源産出国において、輸出総額に占める原油の割合が極めて高い状態にある国の経済的特徴について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。（2016年 岡山県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 工業化が高度に進展しており、原油価格が変動しても工業製品の輸出で安定した収益を確保できる。 | 2. 自国内で全ての経済活動が完結しているため、世界の景気変動による影響をほとんど受けない。 | 3. 輸出先が多岐にわたるため、特定の品目の割合が高くても経済の安定性が非常に高い。 | 4. 特定の一次産品への経済依存度が高く、国際価格の下落が国内経済に大きな打撃を与えやすい。 |
|--|--|--|--|
- 問7 アジアの諸国に関する統計資料において、国土面積に対する森林面積の割合が0.5パーセントと極めて低く、年間の一人当たり二酸化炭素排出量が14.27トンと非常に高い数値を示している国があります。この国の特徴として最も適切な説明を選びなさい。（2025年 愛知県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. サウジアラビアであり、国土の大部分が乾燥帯に属するため樹木が育ちにくく、豊富な石油資源の産出と消費によって排出量が多くなっている。 | 2. インドであり、人口増加にともなう耕地拡大により森林が減少しており、石炭を主燃料とした火力発電への依存から排出量が増加している。 | 3. 中国であり、急速な工業化にともなって森林破壊が深刻化しており、膨大な人口によるエネルギー消費で排出量が世界最大となっている。 | 4. インドネシアであり、熱帯雨林の減少が問題となっている一方で、一人当たりの経済水準が急速に向上したことで排出量が急増している。 |
|--|--|---|---|
- 問8 中国では1970年代から人口爆発を抑制するために「一人っ子政策」が実施されましたが、その後の統計において出生率が長期的に下降し続け、現在は非常に低い水準となっています。この状況が中国の将来に及ぼす、最も深刻な社会的問題として適切なものはどれですか。（2024年 佐賀県公立入試 類似）
- | | | | |
|------------------|------------------|---------------|-------------|
| 1. 死亡率の上昇による人口急減 | 2. 少子高齢化による労働力不足 | 3. 都市人口の過度な集中 | 4. 平均寿命の短縮化 |
|------------------|------------------|---------------|-------------|
- 問9 タイから日本への輸出品目において、電気機器や機械類といった工業製品が高い割合を占めている理由として、最も適切な説明はどれか。（2017年 群馬県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 日本の多くの製造業が生産拠点を現地に移転し、そこから日本へ製品を逆輸入する構造が定着したため。 | 2. タイ政府が原油や天然ガスなどのエネルギー資源を独占的に日本へ輸出する政策をとったため。 | 3. 日本の農家との競争を避けるため、農産物の輸出を禁止し、重化学工業製品の輸出のみを推奨したため。 | 4. 労働集約的な産業である衣類や繊維製品の生産に特化し、安価な製品を大量に日本へ供給しているため。 |
|--|--|--|--|
- 問10 中国の地域別の経済状況について、上海や広東などの沿海部では一人あたり平均年収が約3万～4万円に達しているのに対し、甘粛や貴州などの内陸部では約1.7万～2万円にとどまっているという統計があります。このようなデータが示している中国の課題として、正しい記述はどれですか。（2016年 岩手県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 内陸部は伝統的な重化学工業の拠点であるため、沿海部の商業都市よりも所得が高い傾向にある。 | 2. 内陸部の経済成長が著しいため、沿海部から内陸部へ労働力が大量に移動している。 | 3. 経済特区などが集中し発展を遂げた沿海部と、内陸部との間で所得の格差が広がっている。 | 4. 中国全土で一人あたり平均年収が均一化されており、地域による経済的な特徴は見られない。 |
|---|---|--|---|
- 問11 中国、インド、ケニア、スリランカなどが世界的な生産上位を占める「茶」の生産背景について、その特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2024年 大阪府公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 家畜の飼料としての需要が急増したため、広大な熱帯雨林を切り開いた牧場跡地で栽培されている | 2. かつての植民地支配の影響により、輸出を目的としたプランテーションでの栽培が発達した経緯がある | 3. 砂漠化の進行に強い作物であるため、降水量の極めて少ない乾燥地帯の貴重な現金収入源となっている | 4. 高度に機械化された大規模農業が中心であり、主に先進工業国での生産が盛んである |
|---|---|---|---|
- 問12 サウジアラビアなど、西アジアの産油国の経済と産業の特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2026年 沖縄県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 豊富な石炭資源を背景に製鉄業が発達しており、輸出額においては鉄鋼製品が原油を上回っている。 | 2. 地下資源に乏しいため、輸入した鉄鉱石から自動車などの機械製品を生産し、輸出の柱としている。 | 3. 輸出額の半分以上を原油が占めており、その収益を利用して道路や港湾などのインフラ整備や都市開発を進めている。 | 4. 乾燥した気候を利用した綿花の栽培が盛んであり、原油よりも農産物の輸出による外貨獲得を重視している。 |
|--|--|--|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 東南アジアの中で最も人口が多く、世界最大のイスラム教徒人口を抱える。	インドネシアは、東南アジア諸国の中で最大の人口規模を持つ国です。熱帯雨林気候に属し、米や天然ゴム、原油などの資源も豊富ですが、社会的な最大の特徴は世界最大のイスラム教徒人口を有している点にあります。サウジアラビアは西アジア、繊維工業が盛んな島国はバングラデシュ、メコン川下流域はベトナムなどの特徴を指します。
問2	答え 2 年間降水量が豊富なガンジス川下流域では、多くの水を必要とする稲の栽培が盛んである。	インドでは季節風（モンスーン）の影響により、東部や沿岸部で降水量が多く、北西部で少なくなる傾向があります。ガンジス川の下流域は降水量が非常に豊富なため、その水資源を活かして主食である稲（米）の栽培が行われています。逆に、降水量が1000mmを下回るような乾燥した地域では、水分が少なくても育つ小麦の栽培が優先されるという因果関係があります。
問3	答え 4 アジア州	米は生育期に高温多湿な環境を必要とする作物です。世界の米生産の約9割は、季節風（モンスーン）の影響を強く受ける東アジア、東南アジア、南アジアに集中しています。これらの地域では古くから稲作が生活の基盤となっており、他の州と比較しても圧倒的な生産地点の密度を誇ります。
問4	答え 4 国土のすべてが陸地に囲まれた内陸国であり、北はロシア、南は中国と国境を接している。	モンゴルは、海に面する領土を持たない「内陸国」です。地域区分としては東アジアに分類されますが、海洋から遠く離れているため、乾燥した気候が広がり、古くから遊牧などの独自の文化が発展してきました。選択肢にあるタイ（東南アジア・半島部）、フィリピン（東南アジア・島国）、ノルウェー（北欧）とは位置も地理的特徴も異なります。
問5	答え 1 平地が多く高温多雨な気候環境を生かして、米が盛んに生産されている。	平均標高が低く平地が多い地形と、年中高温で降水量が多い気候条件を備えたバングラデシュでは、米の生産が非常に盛んです。
問6	答え 4 特定の一次産品への経済依存度が高く、国際価格の下落が国内経済に大きな打撃を与えやすい。	輸出総額に占める原油の割合は、その国の経済がどれだけ特定の資源に頼っているかを示す指標です。原油のような一次産品は、国際情勢や需要の変化によって価格が激しく変動するため、依存度が高い国では自国の努力とは別に、国際価格の下落が国家財政や国民生活に深刻な影響を及ぼすというリスクを抱えています。
問7	答え 1 サウジアラビアであり、国土の大部分が乾燥帯に属するため樹木が育ちににくく、豊富な石油資源の産出と消費によって排出量が多くなっている。	サウジアラビアは降水量が極めて少ない乾燥帯に位置するため、森林面積割合が1パーセントにも満たないという特徴があります。一方で、世界有数の石油産出国であることから、国内のエネルギー消費において石油やガスへの依存度が高く、一人当たりの二酸化炭素排出量は先進工業国や他のアジア諸国と比較しても突出して高い傾向にあります。
問8	答え 2 少子高齢化による労働力不足	長年にわたる一人っ子政策の結果、出生率が大幅に低下したことで、将来的に現役世代が減り、高齢者の割合が高まる「少子高齢化」が深刻化しています。これにより、経済成長を支えてきた豊富な労働力が不足することが、中国経済にとっての大きな懸念材料となっています。このため、近年では一人っ子政策が廃止され、出産を奨励する方針に転換されています。
問9	答え 1 日本の多くの製造業が生産拠点を現地に移転し、そこから日本へ製品を逆輸入する構造が定着したため。	タイでは1980年代後半の円高以降、日本の自動車メーカーや家電メーカーなどが生産拠点を次々と移転させました。これによりタイ国内で工業化が急速に進展し、現地で生産された電気機器や機械類が日本へ輸出されるようになりました。このため、タイは日本に対して多額の貿易収支の黒字を計上しています。同時に、肉類や魚介類といった農水産物の加工品の輸出も継続しており、工業と農林水産業の両面で日本と強い結びつきを持っています。
問10	答え 3 経済特区などが集中し発展を遂げた沿海部と、内陸部との間で所得の格差が広がっている。	統計データから、上海や広東といった「沿海部」の所得が、甘粛や貴州などの「内陸部」の約2倍近くに達していることがわかります。これは、1970年代末からの経済改革において沿海部が優先的に開発された結果、地域間で顕著な経済格差が生じていることを示しています。この格差を是正するため、近年では「西部大開発」などの内陸部振興策も行われています。
問11	答え 2 かつての植民地支配の影響により、輸出を目的としたプランテーションでの栽培が発達した経緯がある	インドのダーズリンやスリランカのセイロン、ケニアなどの茶の産地は、かつてイギリスの植民地であった地域が多く、ヨーロッパへの輸出を目的とした大規模農園（プランテーション）が作られた歴史的背景があります。現在もこれらの国々にとって、茶は重要な輸出用農産物となっています。
問12	答え 3 輸出額の半分以上を原油が占めており、その収益を利用して道路や港湾などのインフラ整備や都市開発を進めている。	サウジアラビアをはじめとする西アジアの国々の多くは、輸出額の多くを原油に依存するモノカルチャー経済の傾向があります。得られた莫大な利益（オイルマネー）は、教育の普及や近代的な都市の建設、石油依存から脱却するための工業化などに投資されており、地域の社会構造を大きく変化させています。石炭や鉄鉱石はこの地域の主要な輸出品ではありません。